

Green Note

グリーンノート

第28号

令和4年9月
発行

島根県農業法人協会だより

発行／島根県農業法人協会〔事務局：(一社)島根県農業会議内〕

〒690-0876 島根県松江市黒田町432番地1 TEL(0852)22-4471 FAX(0852)27-2235 E-mail:webmaster@shimane-21.gr.jp

はじめに

昨年の総会より新体制で活動を始めた所でしたが、令和2年当初から感染が拡大した新型コロナウイルスは令和3年度さらに感染が拡大し、思うように事が進められなかった1年になり、農業にも大きな影響を落としました。

そのことにより、これまでのようにみなさんに意見を出して頂く時間がなくなりました。日本農業法人協会では提言書を作成しています。それを踏まえて、会員みなさんの意見を取り入れた島根県版の提言書を作成したいと考えています。初版ですので時間はかかるとは思いますが、今後の関係機関との意見交換時などに活用していき、新たな時代に対応できる島根の農業となるよう、それを基に、一層発展させていきたいと思っておりますので、今後ご協力の方、お願い申し上げます。



島根県農業法人協会
会長 勝部喜政

令和3年
12/17
FRI
松江市

中国四国農政局長との意見交換会



令和3年12月17日(金)、ホテル白鳥にて、4月1日より農政局長に就任されました山本局長と、みどりの食料システム戦略等についての意見交換会をおこないました。



中国四国農政局 山本局長

農林水産省は、みどりの食料システム戦略の方針を打ち出した。一次産業である農業も、中長期的な時点としての目標を2050年に定めている。生産者、消費者を含めて関係機関が一体となって進めていきたい。



Q (有)コスモ21 藤原氏

中山間地で水稻を耕作している。米価下落をナラシ対策で対応しているが、経営的には大変。

A 農政局

ナラシの他に収入保険がある。そのほうが良いのでは。

Q (有)福田ファーム 福田氏

環境保全型農業についての支援を受けるために、個人で資金を借りたい。

A 農政局

個人に対しては難しい。農業法人協会としてやるなら可能だが、会員全員の同意が必要なので実際は難しい。

Q (有)やさか共同農場 佐藤氏

みどりの食料システム戦略の具体的な内容を知りたい。2050年の目標はあるが、5年、10年後の目標が示されていない。生産者、消費者が一体となった勉強会が必要ではないか。

A 農政局

有機農業を2050年には100万ha、2030年には3,000haを目標とし、環境にやさしい農業を目指す(アジアモンスーン型農業)。生産者、消費者だけでなく、JA、普及などと組んで協議会を作る。イベントを広島、愛媛で高校生を主体に計画している。

Q (株)勝部農産 勝部氏

米の輸出をしたい。どうしたらいいか教えて欲しい。

A 農政局

現在の相手先として、香港、シンガポール、アメリカ、中国(精米)、台湾が挙げられる。島根県ブランド推進課が窓口になる。



開催日	事業内容	開催場所
令和3年 5月10日	第1回三役会:・令和3年度総会について・研修会について ・意見交換会について	島根県農業会議会議室(松江市)
5月13日	監査会・令和2年度会計監査	島根県農業会議会議室(松江市)
6月30日	第2回三役会:役員会の進め方について	ニューウェルシティ出雲(出雲市)
6月30日	第1回役員会:・令和3年度総会について・役員改選について ・研修会について・意見交換会について	ニューウェルシティ出雲(出雲市)
7月14日	第2回役員会:令和3年度役員改選について	島根県土地改良会館会議室(松江市)
7月29日	島根県農業法人協会 令和3年度定期総会	出雲ロイヤルホテル(出雲市)
7月29日	研修会 講演:「地域を活性化させるための農業と人財とお金」 (講師:一般社団法人しまね人財研究会 代表理事 太田 利昭氏)	出雲ロイヤルホテル(出雲市)
9月13日	第3回三役会:令和3年度事業計画について	島根県土地改良会館会議室(松江市)
10月15日	第3回役員会:・中国四国農政局長との意見交換会について ・島根県との意見交換会について・研修会について	ラピタ本店(出雲市)
11月9日	第4回三役会:・中国四国農政局長との意見交換会について ・島根県との意見交換会について・農林高校との連携について	島根県土地改良会館会議室(松江市)
12月17日	中国四国農政局長との意見交換会:・みどりの食料システム 戦略について・島根県農業法人協会から提出した質問への 回答について	ホテル白鳥(松江市)
令和4年 2月1日	第5回三役会:・農林高校との交流について・県知事との交 流会について・役員会について	ホテル白鳥(松江市)

Column

コロナ禍における当社の
対応について



感染拡大当初、島根県内での感染者は確認されていませんでした。感染対策を取りつつも社内ではまだ対岸の火事という雰囲気でしたが、一斉休校により学校給食の停止や、子育て中の従業員の出勤調整が課題となりました。まず、従業員の対応については、時間有給制度や託児制度を導入し、家庭の状況に応じ安心して勤務できる環境を整えました。また、休校等による牛乳消費の落ち込みに対し、県内乳業3社の商品をセットにした「しまねの牛さん応援セット」を販売したところ好評をいただき、生産現場の状況を消費者に伝えることができました。

長引くコロナ禍のなかで、リモート会議をはじめとするITを活用した仕事の仕方が急速に普及し、当社でもリモートワークの実施や、これまで社外に出向いたり、講師に来社いただいていた研修なども受講しやすくなり、学びの機会を増やすことができました。このような新しい取り組みの結果、RPA(Robotic Process Automation)を導入し、社員が積極的に本格運用に向け取り組んでいます。

コロナ禍も出口が見え始め、経済活動も活発になってきましたが、コスト上昇など課題は尽きません。この3年で経験したことを糧に、この難局も乗り越えるよう、社員と取り組みたいと考えています。

木次乳業有限会社 佐藤 毅史 氏

令和3年
7/29 THU
出雲市

島根県農業法人協会
総会・研修会



令和3年7月29日(木)、出雲市の「出雲ロイヤルホテル」にて、令和3年度定期総会をおこないました。役員改選にて14名での役員体制が承認され、福田会長・吉岡副会長の退任挨拶、勝部新会長・田尻新副会長からの新任挨拶がありました。

その後、研修会をおこない、一般社団法人しまね人財研究会 代表理事 太田 利昭氏より、「地域を活性化させるための農業と人財とお金」を演題に講演していただきました。

「減化学肥料・減農薬」のお米づくりを続けるこだわりとは？

日常的にいただくご飯が安心・安全なのは当たり前のことで、その上でより良いお米づくりを目指して「減化学肥料・減農薬」という農法で作っています。農業といふとなんとなく環境に優しいイメージがありますが、実際はそうではない一面もあります。例えば田んぼに撒く肥料の中にはプラスチックの殻で覆われたものがありますが、プラスチックの部分は土に還ることなく水田から流出し、海洋プラスチックの一因にもなっています。こうしたプラスチック被覆肥料は農家にとってはとても便利なものですが、環境面のことを考え、当社ではそうした肥料は使用していません。

また農薬に関しては通常の使用量の5割以下に抑え、「特別栽培米」という基準の中で栽培をしています。減農薬での米作りは安心安全である反面、どうしても害虫による斑点米などもできてしまいますが、できるだけ見た目もきれいなお米をお届けしたいという思いで、色彩選別機などを使いながらこだわりのお米を提供しています。

田んぼ一枚一枚、隣り合っても少しの条件の違いで稲の育ち方も違うので、稲の様子を見ながら必要に合わせて肥料や農薬を使います。化学肥料の量を少しでも減らすことで温暖化ガスの排出も抑えられ、地球温暖化や生態系破壊の防止に繋がると思っています。こうした農法は当然手間がかかりますが、農家として品質はもちろんのこと、環境にも配慮したお米づくりを目指したいという思いで続けています。

今後の目標や会社としての思いを教えてください。

「カンドーファーム」という社名は、“普段の食卓や暮らしの中に、ささやかな感動を提供できるようなお米を作りたい”という思いでつけた名前ですので、今後もお客様に「おいしい」と言ってもらえる良質なお米を作り続けようと思っています。そして継続して環境に優しい農業に取り組み、従業員が安心・安全に働けるための職場づくりに力を入れていきたいです。

また今年の6月からカンドーファームの子会社として株式会社結意(ゆい)を新しく立ち上げました。生産・物流・販売までの全てを管理し、カンドーファームのお米を普段の生活にはもちろん、贈答用や会社の福利厚生など、さまざまな場面で利用していただけるよう、新しい提案をしていこうと思っています。そして土づくり、人づくり、地域づくりをモットーに、農業がこの先もいい形で次世代へ引き継いでいけるよう、つなぎ結んでいきたいという思いです。

次世代につなぎたい 環境に配慮した安全で 良質なお米づくり

カンドーファーム株式会社(島根県松江市古曾志町307-1)

代表取締役 田尻一輝氏

松江市の宍道湖北部、米作りに適した圃場で

農業を営むカンドーファーム株式会社。

平成20年に設立し、安心安全な米作りはもちろん、

環境に優しい農業を目指す田尻社長にお話を伺いました。

会社を設立された経緯を教えてください。

うちは昔からこの地で農業を営んでいて、両親は米やブドウを生産していました。私は若い頃は農家を継ぐ気は全くなかったのですが、両親を手伝っているうちに「農業も悪くない」と思い始め、そのまま家業を引き継ぐ形になりました。

我が家の農地に加えて、高齢化や後継者不足で栽培が続けられなくなった田んぼも請け負うようになり、当時まだ減反政策が行われていた頃はそばや小麦の転作も行いました。そうして農地が拡大していき、将来の後継者問題なども考えて平成20年に法人化しました。

現在は95ヘクタールの農地を管理し、6種類のお米(つや姫、ミルクQueen、コシヒカリ、きぬむすめ、いのちの壺、ハナエチゼン)や小麦を中心に生産しています。

島根県ではかなり早い段階でJGAPを取得されていますね。

会社を設立し、農場を運営する中で多くの問題点が見えてきました。さまざまな課題に対してどう解決していくか頭を悩ませていましたが、結局は全てにおいて最低基準以上にするしかないと思ったんです。何か一つでも合格点に満たないものがあれば、いつかそれが運営を妨げる要因になるかもしれないと。そこで、農林水産省が推奨する農業生産工程管理手法であるJGAPの認定を受けることにしました。JGAPには食品安全、環境保全、労働安全に関する法令など数々の点検項目があり、それらの適合基準をクリアすることで、農場運営の向上化を目指しました。



PRODUCT

会員の事業・製品をご紹介します。

柿壺 株式会社



柿壺株式会社は柿専業農家として西条柿を中心とした柿の栽培・加工・販売を行っております。

西条柿は中国地方原産の品種であり、ほぼ中国地方でのみ栽培されている希少品で、抜群の糖度と緻密な食感是他に類をみない美味しさを誇ります。そんな西条柿を千年先の未来にも残していきたいという想いで栽培を行っています。

栽培では、園地の多様な生態系を維持するため、除草剤は一切使用せず、有機質を多く含む堆肥等を施し、柿の木一本ずつ違う個性を感じながら、お客様に喜んで頂ける柿づくりに励んでおります。また、弊社で製造を行う『島根県出雲市産西条柿の干し柿』は100%自家栽培の西条柿を使用し、砂糖・着色料不使用で体にやさしい無添加の自然食品。こだわりの水分量で仕上げた干し柿は絶妙のしっとりとした食べ応えでひとつひとつ思いを込めて作り上げた柿壺の自信作です。

販売はインターネットでも行い、全国各地のお客様に商品をお求めいただけるよう取り組んでいます。その他、ふるさと納税の返礼品としても発送しており、『西条柿』の魅力を全国へ発信し、地域の活性化に繋げたいと考えております。



出雲市野石谷町 URL <https://kakitsubo.jp/>

有限会社 桜江町桑茶生産組合

1998年より桑の葉をはじめとした健康素材の栽培・加工・販売に取り組んでいます。化学肥料・農薬不使用の、身体と環境にやさしい農業を実施。オーガニック需要や健康志向の高まりに伴いご愛用者も増え、使いやすく美味しい商品づくりにより一層注力しています。

「自分や自分の家族に食べさせたい商品を」そんな想いで商品づくりを。有機の桑茶や桑青汁、菊芋茶、各種オーガニックパウダーなど、多彩な商品をご提供しています。



江津市桜江町

TEL 0120-17-9898

URL <https://www.kuwakuwa.tv/>

Membership List

令和4年9月現在

法人名	正会員	青年部	住所および業種
(株)勝部農産	会長		出雲市斐川町 水稲 大豆
木次乳業(有)	副会長	理事	雲南市木次町 酪農 ぶどう 加工
カンドーファーム(株)	副会長	監事	松江市古曾志町 水稲
(有)福田ファーム	理事	〇	出雲市野石谷町 養鶏 加工
(株)いづも農縁	理事		出雲市稲岡町 モロヘイヤ エコマ 加工
(有)コスモ21	理事	〇	仁多郡奥出雲町 水稲 焼酎
(株)松永牧場	理事		益田市種村町 肉用牛
(有)森脇鶏農場	理事		雲南市大東町 養鶏
(株)オーサン	理事		邑智郡川本町 エコマ 加工
(有)ちくさん緑化	理事		出雲市佐田町 肉用牛
(有)やさか共同農場	理事	部長	浜田市弥栄町 水稲 味噌加工 野菜
(有)旭養鶏舎	理事	副部長	大田市波根町 養鶏 加工
(有)木次ファーム	監事	〇	雲南市木次町 養鶏
(有)後長牧場	監事		飯石郡飯南町 酪農
(株)ファーム木精	理事	〇	飯石郡飯南町 水稲 野菜 加工
(有)中山農場	〇	〇	大田市川合町 酪農
(有)三和農産	〇	〇	出雲市船津町 水稲 加工
(有)桜江町桑茶生産組合	〇	〇	江津市桜江町 桑 加工
(株)大田原農場	〇		大田市水上町 酪農
(農)河本牧場	〇		益田市匹見町 肉用牛
(農)京村牧場	〇		鹿足郡津和野町 肉用牛

法人名	正会員	青年部	住所および業種
ティーナチュラル(有)	〇	理事	松江市乃木福富町 水稲 野菜 加工
(有)金山グローカルファーム	〇		出雲市国富町 水稲 小麦
(有)山本産業	〇		邑智郡邑南町 養鶏
(株)大久保養鶏農場	〇		益田市左ヶ山町 養鶏 フロイラー
(株)藤若農産	〇		浜田市金城町 水稲 ぶどう 加工
(農)アグリード羽根	〇		出雲市斐川町 水稲 ハトムギ 加工 大豆
柿壺(株)	〇		出雲市野石谷町 柿 加工
(株)米らいふ	〇		出雲市斐川町 水稲 大豆
(農)おさす	〇		出雲市斐川町 水稲 大豆 ハトムギ ひまわり 大豆
シックスプロデュース(有)	理事	副部長	邑智郡邑南町 酪農 加工
びおふあーむ		理事	邑智郡美郷町 野菜
丸大島根ファーム(株)		理事	飯石郡飯南町 養鶏
岩田農園(株)		監事	仁多郡奥出雲町 水稲
(有)アグリみと		〇	益田市美都町 水稲 いちご
(株)扇原茶園		〇	浜田市田橋町 茶
(農)明るい農村		〇	松江市西尾町 水稲 加工
奥出雲ファーム(有)		〇	飯石郡飯南町 養鶏
(株)メイプル牧場		〇	益田市黒周町 酪農 加工

会員所在地MAP

